別記様式第４号（その２）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　研　究　業　績　書

年　月　日

氏名　小野田　金司　　印

研究分野	研究内容のキーワード
観光学	観光プロモーション、インバウンド観光、観光キャリア教育、イベント

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1　教育方法の実践例	2010年～11年	文科省GP就業力育成事業「実務経験とキャリア教育をつなぐプログラム」プロジェクトリーダー
	2013年	文科省委嘱事業「地域産業活性化のための着地型観光プレイヤー育成事業」プロジェクトリーダー
2　作成した教科書，教材	2010年3月	ニューツーリズム人材養成テキスト（共著）
	2011年3月	地域密着型人材育成事業応用編ﾜｰｷﾝｸﾞﾃｷｽﾄ
	2014年1月	着地型観光人材育成テキスト（eラーニング）
3　教育上の能力に関する大学等の評価		
4　実務の経験を有する者についての特記事項	2009年4月～	YOKOSOみなとまち神戸コンソーシアム委員（国交
	2010年	観光プロデューサー主任講師（日本観光協会、近畿日本ツーリスト共催）
	2010年～	六甲ミーツアート　アドバイザー（阪神電鉄）
	2010年11月	京都観光未来塾特別研修講師
	2011年6月	和歌山県着型観光商品人材育成研修講師（和歌山
	2011年	地域密着型観光人材養成事業講師（日本観光協会
	2011年～	神戸商工会議所観光集客委員
	2012年	日本観光振興協会地域密着型観光人材育成事業講
	2012年～	神戸・ニューツーリズム事業実行委員会代表就任
	2012年～	KOBE DE 清盛 企画委員
	2013年9月	和歌山県串本町着地型観光実証事業推進委員長
	2013年11月	農水省事業農山漁村活用事業講師、和歌山県由良
	2014年3月	日本インバウンド教育協会設立記念シンポジウムパネラー、研究成果報告
	2014年5月	日本観光研究学会パネルディスカッションコーディネーター
5　その他	2013年	神戸市文化奨励賞受賞　COMIN’KOBE実行委員会

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1　資格，免許		
2　特許等		
3　実務の経験を有する者についての特記事項	2008年4月～	産官学地域連携センター長（～2013年8月）
	2010年～11年	就業力育成委員長
	2013年9月～	地域研究所所長
4　その他		

研究業績等に関する事項				
著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書）				
1.熊野古道へ導くディストリビューターたち	共著	2010年3月	財）日本余暇文化振興会	
2.就業力働く力働き続ける力	共著	2011年3月	神戸夙川学院大学	
（学術論文）				
１．「SPECIAL INTEREST TOURISM」による21世紀の観光戦略	単著	2002年3月	財）日本余暇文化振興会	
2　熊野参詣道の観光システムについて	共著	2011年3月	財）日本余暇文化振興会	神戸夙川学院大学共同研究
（その他）				
1神戸観光サービス白書2010	共著	2011年3月	神戸夙川学院大学	
2.神戸着地型観光取扱説明書	共著	2013年3月	神戸夙川学院大学	
3.インバウンド観光取扱説明書	共著	2014年3月	神戸夙川学院大学	
4.教育PRO12月3日号	単著	2013年12月	株式会社ERP	国際理解教育が支える日本の新観光時代
5.自治体国際化フォーラム2月号	単著	2014年1月	自治体国際化協会	日本のインバウンド市場成長とイスラム圏からの観光客誘致
3インバウンド観光取扱説明書	共著	2014年3月		

（注）
1　この書類は，学長（高等専門学校にあっては校長）及び専任教員について作成すること。
2　医科大学又は医学若しくは歯学に関する学部若しくは学部の学科の設置の認可を受けようとする場合，附属病院の長についてもこの書類を作成すること。
3　「研究業績等に関する事項」には，書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。
4　「氏名」は，本人が自署すること。
5　印影は，印鑑登録をしている印章により押印すること。ただし，やむを得ない事由があるときは，省略することができる。この場合において，「氏名」は，旅券にした署名と同じ文字及び書体で自署すること。